

授業科目名	生命・医療倫理学I (Medical Ethics)		
対象学年	1年生	単位	1単位
科目責任者	ひのい たかお 檜井 孝夫	所属	遺伝子診療科
授業方法	講義中心、グループ討論		
概要	医師になる者にとって倫理的側面の必須な知識と考え方を学ぶ。		
到達目標	医療と医学における倫理の重要性を理解するために、具体的な医学・医療における倫理的な問題を指摘すると同時にそれらを解決する能力を身につける。		
講義日程	第1回 ガイダンス 生命倫理学 概論 檜井 第2回 研究倫理 檜井 第3回 医療格差と倫理 松本 第4回 患者の意志決定と終末期患者のこころの動き 倉田 第5回 医学史(医師の倫理) 蓮沼 第6・7回 アンプロフェッショナルな医学生の行動を考える 蓮沼・服部 第8・9回 アルコール依存 酒井		
評価項目	授業への参加態度 グループワークでの態度 レポート提出 課題テストの提出		
評価法	グループワークでの態度・提出レポート、課題テストなどで評価する。医師となるのに必要な素養を見につけるための授業であるので、録画の視聴を含めて、原則、全授業を出席することを単位認定の条件とする。出席は授業内で行う出席アンケート(Forms)で確認する。明らかに出席日数が不足する学生には、Teamsで録画した授業の視聴を求める。		
予習・復習へのアドバイス	生命医療倫理学は、医師になるために必須の素養を身につけるための授業である。興味と気概を持って授業に臨むこと。授業で学んだ内容について、自らネットを使って、知識を補充することが望ましい。		
履修上の注意 アドバイス	課題が出た際には、速やかにmoodleにて提出すること。 学外からの非常勤講師の授業が多いので、礼儀には気を付けること。 医学生としての姿勢を問う授業であるので、積極的に取り組むこと。		
推奨参考書	特になし 毎回の授業の講義プリント moodleの授業資料		